

人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク

薩摩保護区保護司会 広報紙

2023(令和5年)

8月
第9号

保護司会だより

編集・発行：薩摩保護区保護司会 薩摩川内市・さつま町 薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内） ☎0996-41-6196 FAX 0996-41-6196

第七十三回社会を明るくする運動と

「第二次再犯防止推進計画」



薩摩保護区保護司会
会長 田中 実
たなか みのる

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動で七十三回目を迎えた今年も総理大臣メッセージが出されました。薩摩保護区では、川内更生保護女性会・入来更生保護女性会・さつま町更生保護女性会・川内BBS会等と連携してこのメッセージを首長に渡す伝達式を毎年行い今回も、薩摩川内市の田中市長とさつま町の上野町長には直接受け取っていただきこの運動に協力を頂いています。

「再犯防止推進計画」は平成二十八年十二月に「再犯防止等の推進に関する法律」が成立し施行された初めての計画でしたが、令和五年三月「第二次再犯防止推進計画」が閣議決定されました。第二次計画は再犯防止の取り組みをさらに深化させ推進していくための重点課題として、(一)就労・住居の確保、(二)保健医療・福祉サービスの利用の促進、(三)学校等と連携した修学支援、(四)犯罪をした者等の特性に応じた効果的な指導、(五)民間協力者の活動の促進、(六)地域による包摂の推進、(七)再犯防止に向けた基盤の整備、以上七つが設定され、各県とそれぞれの自治体が活動計画を作り実行していくものです。

このように、社会を明るくする運動と「再犯防止推進計画」は、保護司本来の仕事である罪を犯した人や非行をした人の改善更生のための活動と共に私たちの活動の大きな柱となっています。

「息の長い社会復帰支援について」



鹿児島保護観察所
所長 佐藤 好行
さとう よしゆき

本年四月に、中部地方更生保護委員会から異動してまいりました。九州での勤務は、初めてですが、よろしくお願いいたします。

さて、最近の犯罪情勢を見ますと、一月から五月までの刑法犯の認知件数を昨年同時期と比較した場合、警察庁の発表では、全国では昨年の二二・六七二件に対し、今年は二七・八五〇件と約四万九千件の増加、鹿児島県では、一・七三三件に対し、二・六四四件と約九〇〇件の増加となっています。

ここ数年のコロナ禍による行動制限が今年に入って緩和されている影響か、概ねコロナ禍以前の水準に戻ってしまったようです。

刑法犯の認知件数が増加すると、刑事処分等を受ける者も増えるわけですが、本年十二月に施行される刑法等の一部改正に伴う改正更生保護法等では、拘留中の被疑者に対する生活環境の調整や、刑執行終了者等への援助などを保護観察所が行うことが盛り込まれています。刑事手続を終えた後の地域社会における自立に至るまでを見据えた息の長い社会復帰支援を確保して、より確実にその再犯防止を図っていくこと、つまりは、検察庁での捜査に始まり、矯正処遇、保護観察、そして、地方自治体等による地域社会における援助へとつながる一連の流れを途切れさせないようにすることが求められているところ、地域でのネットワーク作りや、社会を明るくする運動を始めとする犯罪予防への取り組みに御協力いただくことも多々あるうかと思いますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

写真で見る主な諸活動

5月 薩摩保護区保護司会総会／第1期定例研修会

新年度の活動等について総会を行い、その後、定例研修会を実施しています。令和5年度は、「家族支援」という研修テーマで、鹿児島保護観察所の森下観察官から講話があり、理解を深めました。

1年間に定例研修会を3回、各支部での処遇会議等を実施しています。



7月 「社会を明るくする運動」薩摩川内市長及びさつま町長への総理大臣メッセージ伝達式

「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し毎年7月を強調月間として全国で展開されています。

再犯防止に向けた取組や本運動に対して理解を求める内閣総理大臣メッセージの伝達式を薩摩川内市役所及びさつま町役場で行いました。



9月 薩摩川内地区学校長・薩摩川内警察署・薩摩川内市との合同研修会・情報交換会

学校・警察・行政等と連携し、犯罪や非行のない明るい社会づくりに努めています。

11月 視察研修

更生保護活動に活かすために、関係更正保護施設等の視察研修を実施しています。

2月 各支部処遇会議

保護司相互の情報交換の場として各支部で処遇会議を開催し、研修・情報交換会及び懇親会等を実施しています。(写真は東支部処遇会議の様子です)



11月 保護司候補者検討協議会

保護司活動に対する地域の理解を深め、幅広い人材から保護司候補者を確保することに努めています。



3月 第3期定例研修会

昨年度は、保護観察の「事例研究」という研修テーマで、鹿児島保護観察所の森下観察官から4つの事例について講話があり、その後、保護司どうしのグループ討議をとおして理解を深めました。



※この他、対象者を受け入れるための「生活環境調整」や「保護観察面談」活動等を実施しています。

薩摩保護区保護司関係の受章者・退任・新任者

叙勲・褒章受章者

宮田 修一 氏(薩摩川内市東大小路町、令和3年11月3日付)



久木野 勲 氏(薩摩川内市平佐町、令和4年4月29日付)



退任者

中村 健一郎 氏(薩摩川内市東郷町山田、令和4年9月30日付)

勝田 俊治 氏(さつま町山崎、令和4年11月30日付)

三腰 鈴子 氏(さつま町泊野、令和4年12月31日付)

新任者

高橋 誠芳 氏(さつま町永野、令和4年10月1日付)

春山 智 氏(さつま町宮之城屋地、令和4年10月1日付)

古田 昌也 氏(さつま町柏原、令和5年2月1日付)

更生保護を支える力

現在、薩摩保護区には、更生保護を支える力として、主に更生保護女性会、BBS会、及び協力雇用主会があります。今回は、更生保護女性会としての3つの地区(川内地区、入来地区、さつま地区)のうち、今年度会長さんが交代になりました2地区の活動を紹介させていただきます。



川内
更生保護女性会
会長 家村 純子



仲良く楽しく元気な会を目指して

今年度、会長職をお引き受け致しました家村です。どうぞ宜しくお願い致します。

本年度の川内更女会の活動も、昨年同様、再犯防止・更生支援活動として「ひまわり教室」を年3回計画しています。1回目を7月9日(日)総勢41名の参加にて、和気あいあい終える事が出来ました。2回目の準備も少しずつ始めます。

又、川内地区の小学校4年生全児童の皆さんへ、「つなし(10歳)のお祝」のプレゼントとして「福来るふくろうのマスコット」と「四文字熟語のおみくじ」も製作しています。

会員が「出来る人が、出来る事を、出来る時に」と無理をせず、助け合いながら、仲良く元気に、そして楽しく活動出来たらと思います。頼りない会長ですが、新たな役員や理事、会員をはじめ、保護司会、BBS会の協力を頂きながら頑張っていきたいと思います。



さつま町
更生保護女性会
会長 横山 より子



原点に立ち戻って

今年度より会長をお引き受けしました。活動がまだ完全にはコロナ禍以前に戻らない中、何から取り組んでいけばよいのか迷っているところです。ただ会の組織が各地区に分かれ、そこをお世話する役員を中心に連絡系統などがとてもしっかりしていて、歴代会長には感謝しています。

また先日の役員会で、今年度の研修について話し合っていると誰からというわけではなく自然と、新しい会員でまだ刑務所を訪問したことがない人がいるはず、ぜひ行きましょうという話になりました。私も活動の原点は何だろうと考えていた時でしたので、役員方の考えに感心してしまいました。訪問が可能になっているようでしたら、刑務所をお訪ねしてみようと考えているところです。

更生保護：立ち直りを支えるしくみ

罪を犯した人たちの立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐしくみを更生保護といいます。

更生保護ボランティアとしての直接的な支援

保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。

協力雇用主や更生保護施設の職員として支援

地域社会に復帰

住居が必要

地域との絆が必要

仕事が必要

更生保護女性会員やBBS会員として支援

地域の人たちの理解と協力

“社会を明るくする運動”に参加する。

刑務所や少年院、職業訓練などで作ったものを購入する。

更生保護ボランティアを支援する。

罪を犯した人の立ち直りを見守り、彼らの存在を受け入れる

令和5年度薩摩保護区保護司会理事役員名簿

役職名	氏 名	支部名
会 長	田 中 実	南
副 会 長	永 山 伸 一	東
副 会 長	伊 東 正	北
事務局長 サポートセンター長	福 山 義 幸	北
会 計	加治屋 卓 朗	南
南支部長	鹿子木 努	南
北支部長	大 藺 喜一郎	北

役職名	氏 名	支部名
東支部長	徳 永 幸 夫	東
さつま支部長	柏 木 幸 平	さつま
西支部長	蔵 元 保 海	西
総務部長	田 島 洋 輝	東
研修部長	斉 藤 治 城	北
犯罪予防部長 駐在保護司	野 平 誠	南
協力組織部長	永 留 博 文	南

役職名	氏 名	支部名
社会貢献活動	村 上 眞理子	東
理 事	山 下 英 雄	さつま
理 事	東 哲 雄	さつま
監 事	小田原 勇次郎	北
監 事	新 改 幸 一	さつま
事務局次長	松 下 昭 子	北

令和5年度薩摩保護区保護司会学校連絡保護司名簿

支部名	氏 名	学校連絡保護司
南	鹿子木 努	平佐西小
南	宮 田 羊 子	永利小
南	尾 曲 祐 一	隈之城小、川内南中
南	井 上 光 男	峰山小
南	山 元 貴 代	平佐西小、川内中央中
南	加治屋 卓 朗	平佐西小、平佐東小
南	永 留 博 文	川内南中
南	野 平 誠	川内中央中
南	岩 元 ひとみ	隈之城小
南	西 一 徳	永利小
南	有 馬 貞 喜	平佐西小
南	松 元 邦 明	川内小、川内中央中
南	中 内 カ ネ	川内小
南	山ノ内 文 夫	峰山小
南	久木野 勲	永利小、川内南中
南	田 中 実	れいめい中
南	中 川 一 朗	隈之城小、れいめい中
南	軍 神 利喜男	川内中央中
南	内 田 一 樹	川内小
南	大六野 直 実	川内南中
南	桑 畑 明 斎	川内南中
南	上江川 知 美	川内小
南	堂 園 力 也	川内小

北	伊 東 正	育英小、川内北中
北	田 中 晴 樹	可愛小
北	福 山 義 幸	亀山小、川内北中
北	三 浦 美 幸	育英小
北	小田原 勇次郎	可愛小、川内北中
北	斉 藤 治 城	八幡小
北	松 下 昭 子	高来小、城上小、平成中
北	尻無濱 一 喜	育英小
北	亀 田 信 暁	水引小
北	大 村 恵美子	水引小、水引中
北	手 打 哲 也	水引小
北	加 藤 信 行	亀山小
北	下 園 絹 子	水引小、水引中
北	大 藺 喜一郎	育英小、八幡小
北	檜 木 敏 文	水引小、水引中
北	中 間 則 行	水引小、水引中
北	山 口 就太郎	可愛小
北	土器手 正 之	亀山小
北	福 永 幸 央	育英小
北	坂 元 安 夫	高来小、城上小、平成中
北	宮 田 修 一	川内北中

支部名	氏 名	学校連絡保護司
東	大 田 純 一	樋脇小、樋脇中、市比野小
東	村 上 眞理子	市比野小、樋脇中
東	徳 永 幸 夫	樋脇小、樋脇中
東	笹 森 純 一	市比野小
東	村 原 政 和	黒木小、祁答院中
東	田 島 洋 輝	祁答院中、大妻小
東	平 林 輝 美	大妻小、祁答院中
東	石 原 稔 雄	上手小、祁答院中
東	羽 島 泰 建	蘭牟田小
東	永 山 伸 一	東郷学園
東	山 下 浩 一	東郷学園
東	田 代 幸一郎	東郷学園
東	内 野 久 子	東郷学園
東	水 流 信 雄	入来小、入来中
東	村 岡 文 正	入来小、入来中
東	田 島 功 輔	副田小、入来中

西	蔵 元 保 海	中津小
西	小 村 昌 治	鹿島小
西	下 江 伊八郎	海星中
西	野 島 秋 彦	里小、里中
西	中 野 力 丸	長浜小
西	野 島 孝 信	里小、里中
西	井 芹 顕 真	手打小、海陽中

さつま	新 改 幸 一	柏原小
さつま	久 保 敬 作	佐志小
さつま	徳 留 昇	山崎小
さつま	山 下 英 雄	盈進小
さつま	野 崎 華 子	宮之城小
さつま	濱 崎 典 子	盈進小
さつま	柏 木 幸 平	宮之城小
さつま	東 哲 雄	鶴田小
さつま	木 下 賢 治	中津川小
さつま	福 山 道 徳	求名小
さつま	手 塚 良 平	鶴田小
さつま	堂ノ脇 一 則	宮之城小
さつま	小 森 良 峰	求名小
さつま	片 山 晋 介	鶴田小
さつま	高 橋 誠 芳	永野小
さつま	春 山 智	盈進小
さつま	古 田 昌 也	柏原小

「サポセン」は次の様な事に利用できます。

1. 地域住民からの犯罪・非行に関する相談の窓口
2. 地域における関係機関・団体との連絡・協議
3. その他更生保護に関する活動（ご相談下さい）

所在地
名 称
電 話

薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内）
薩摩地区更生保護サポートセンター（薩摩保護区保護司会事務局）
0996-41-6196 FAX 0996-41-6196